

公立高校入試情報 和歌山県

【数学】

令和3年度和歌山県入試の全体傾向

- 大問数は5問、小問数は28問で、ほぼ例年どおり。
- 出題傾向も例年と大きな変化はなかった。大問1は、基本問題を中心とした小問集合、大問2は、図形や文章題を中心とした小問集合、大問3は、図形の規則性、大問4は、1次関数のグラフと図形の融合問題、大問5は、証明を含む図形の総合問題が出題された。
- 規則性を発見する問題がよく出題されている。今年はタイルの並べ方を題材とした問題が出たが、考え方のヒントになる図もあり、比較的取り組みやすいものであった。全体的に思考力や読解力を重視した傾向となっている。

■ 規則性を発見する問題の出題

・数や図形の規則性に関する問題がよく出題されている。数多く問題にあたって、慣れておく必要がある。

■ 関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり、関数のグラフと図形を融合させた問題が出題された。動点と面積の変化の問題もよく出題されるので、対策が必要である。

★和歌山県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●	
		文字と式	●	●	●	●	
		方程式					
		比例と反比例		●	●	●	
		平面図形			●	●	
		空間図形	●	●	●	●	
		資料の活用	●		●	●	
	2年内容	式の計算	●	●	●	●	
		連立方程式	●	●	●	●	
		1次関数	●	●	●	●	
		図形の調べ方	●	●	●	●	
		三角形		●	●	●	
		平行四辺形	●			●	
		確率	●	●	●	●	
	データの比較と箱ひげ図						
	3年内容	式の計算	●	●	●	●	
		平方根	●	●	●	●	
		2次方程式	●	●	●	●	
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●	
相似な図形		●	●	●	●		
円の性質		●	●	●	●		
三平方の定理		●	●	●	●		
標本調査			●				
出題形式別の傾向	大問数		5	5	5	5	
	小問数		26	27	27	28	
	記述問題	図形の証明(説明)		1	1	1	1
		その他の説明・証明など			1		1
		立式・解法の過程の記述		2	2	2	1
		作図(図形)					
作図(グラフ)							